

焼津市山の手未来の会のみなさん

山の手地区で「花と香りの郷づくり」



インタビューに答えてくれた「焼津市山の手未来の会」の皆さんと、インタビュアーの河合議員、深田議員

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

今回は、策牛、関方、方ノ上の3地区からなる山の手地区で活動をしている「焼津市山の手未来の会」の皆さんにお話を伺いました。

1. 焼津市山の手未来の会の活動について教えて！

会は平成8年に発足し、現在、山の手地区の74世帯94人で活動しています。

「花と香りのある郷づくり」をテーマに、1月に「ふるさと探訪と蠟梅の香りを聴く会」、2月に「山の手さくらまつり」、11月には方ノ上城址から、「狼煙上げ」の再現をしています。

また、年4回ほど「高草山ハイキングコースの整備」も行います。

2. それぞれの活動について詳しく！

「ふるさと探訪と蠟梅の香りを聴く会」では、蠟梅の郷を作ろう！

と初代会長が蠟梅の苗を作って、町内会の各家庭に植えてもらっているほか、地元にある山の手会館の裏にも40本ほど植えています。

参加者に蠟梅の香りを楽しんでもらいながら、山の手地区の歴史と文化の紹介しており、毎年、市内外から参加申込があります。



焼津市山の手未来の会
会長の山田さん



〈インタビュアー〉
河合一也 議員

「山の手さくらまつり」は、残念ながらコロナの影響で昨年からイベントを中止しており、観光パスは来ていませんが、見に来る人は増えてきています。

二十数年前、当時入手が難しかった40本ほどの河津桜の苗を、朝比奈川の堤に植えました。接ぎ木の勉強もし、現在、約200本の桜並木となっています。

木の間隔にも余裕を持たせてあるので、1本1本の桜を裾までご覧いただけます。

「狼煙上げ」は、高草山の中腹に石合山という山があつて、方ノ上城というお城がありました。この城址に狼煙台の跡があり、再現を毎年11月3日に行っています。

初めは狼煙台から木の葉っぱを燃やしてみましたが、煙が上手く上がらず、今は窯を作つて、煙突で煙を送り出すようにしています。

『石灰を風車で送つたらどうなんだ』となつて、やってみたときには、落ちてきた石灰が目が痛くなつてしまったこともあります。



狼煙上げの様子
(方ノ上城址より)

「高草山ハイキングコースの整備」(表紙写真)は台風のあとの倒木の処理や、イノシシに壊された道路の修繕を行っています。

また、市から擬木の杭を配ってもらい、杭を打つて路肩を段にし

ています。ハイキングコースは資材が多くなると運搬も大変です。



ふるさと探訪と繭梅の香りを聴く会の様子

3. 皆さんが感じている、 焼津市の良いところは何？

高草山があり、海があり、大きな川があつて、お年寄りから子どもまで住みよい街だと思います。ふるさと納税が全国的に上位といることからも、産物にも恵まれていると思います。

4. 行政や議会について 思っていることは？

市のやっていることについて、マネジメント効果が示されており

ますが、どこがどう良くなったのか、今後どういう風に進化させていきたいのか、市民により細かく示してもらふことで、私たちの活動と一致させていければ良いのではないかと思います。



〈インタビュアー〉
深田百合子 議員

5. これから挑戦してみたいこと について教えてください！

「山の手さくらまつり」の駐車場周辺にコスモスの種を蒔きました。どのくらい芽が出て花が咲いてくれるのか楽しみにしています。周辺の通りは、散歩や自転車で通る人が多いので、花が咲いていれば皆さんに楽しんでもらえるのではないかと思います。

挑戦というよりも、自分たちが

楽しんで活動した上で、皆さんも楽しめるようにしていった結果、人の流れが生まれ、焼津市の観光資源になった、あるいはなつていけば良いなと思っています。



朝比奈川堤の山の手さくら
(写真提供：焼津市)

インタビューに 答えてくれた皆さん

会長	山田 宏 さん
副会長	勝岡 倫雄 さん
副会長	牧田 久雄 さん
事務局	入場 誠 さん
会計	石田 智 さん